

## 安全データシート(SDS)

### 1. 製品および会社情報

製品名：OT コート QQ 主剤  
 会社名：田島ルーフィング株式会社  
 住所：東京都千代田区外神田 4-14-1  
 担当部門：テクノサービス  
 電話番号：03-6837-8880  
 FAX番号：03-6837-8890  
 作成日：2014年02月14日  
 改定日：2016年06月01日

### 2. 危険有害性の要約

#### 【GHS分類】

#### 物理化学的危険性

引火性液体 : 区分3

#### 健康有害性

急性毒性 経口 : 区分外  
 経皮 : 区分外  
 吸入；気体 : 分類できない  
 吸入；蒸気 : 分類できない  
 吸入；粉塵、ミスト : 分類できない

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分外

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分2

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 区分外

生殖細胞変異原性 : 区分外

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 区分外

授乳に対する又は授乳を介した影響 : 区分外

特定標的臓器毒性（単回暴露） : 区分3（気道刺激性、麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復暴露） : 区分外

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

#### 環境有害性

水生環境有害性（急性） : 分類できない

水生環境有害性（長期間） : 分類できない

オゾン層への有害性 : 分類できない

#### 【GHSラベル要素】

#### [絵表示]



#### [注意喚起語]

警告

#### [危険有害性情報]

・引火性液体及び蒸気

- ・強い眼刺激
- ・呼吸器への刺激のおそれ又は眠気又はめまいのおそれ（気道刺激性、麻酔作用）

## 〔注意書き〕

## 〔安全対策〕

- ・使用前に取り扱い説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・容器を接地すること／アースをとること。
- ・防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
- ・取扱い後はよく手を洗い、うがいをする事。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。必要に応じて防毒マスク／ホースマスク等を着用すること。

## 〔応急措置〕

- ・次の場合は直ちに医師に連絡し、診断／手当てを受けること（飲み込んだ場合、皮膚刺激または発疹が生じた場合、眼に入った場合、眼の刺激が続く場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合）。
- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・火災の場合には、消火に粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂等を使用すること。

## 〔保管〕

- ・容器を密閉して涼しいところ／換気の良い場所で保管すること。
- ・施錠して保管すること。

## 〔廃棄〕

- ・内容物／容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託し、廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分（危険有害性物質を対象）	含有量(%)	CAS No.	化管法	安衛法 通知対象物質
メトキシプロピルアセテート	70-80	108-65-6	該当しない	該当しない
ポリイソシアネート樹脂	20-30		該当しない	該当しない

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。

蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直

ちに医師の診断を受けること。症状が改善されない場合は、医師に連絡すること  
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

#### 皮膚に付着した場合

付着物を布で素早く拭き取る。

大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーなどは使用しないこと。外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。気分が悪い時には医師の診断を受けること。

直ちに、すべての汚染された衣類を取り除くこと。皮膚を流水で洗うこと、直ちに医師に連絡すること。

#### 眼に入った場合

直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

直ちに医師の診断を受けること。

#### 飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。

嘔吐物は飲み込ませないこと。

医師の指示による以外には無理に吐かせないこと。

#### 応急処置をする者の保護

適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。

換気を行う。

## 5. 火災時の措置

使用可能消火剤

水 [ ] ・炭酸ガス [○] ・泡 [○] ・粉末 [○] ・乾燥砂 [○] ・霧状強化液 [○]

消火方法

適切な保護具（耐熱性着衣）などを着用する。

安全に対処できるのであれば可燃性の物を周囲から素早く取り除く。

指定の消火剤を使用する。

高温にさらされた密閉容器は水をかけて冷却する。

消火活動は風上から行う。

棒状の水を消火に用いてはならない。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具（保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。

屋内では換気をしっかり行う。

屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。

周辺を立入禁止にして、関係者以外を近づけないようにして、二次災害を防止する。

付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。

着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境対する注意事項

河川への流出等により、環境への影響を起ささないように注意する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材

漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、関連法令に基づいて処置すること。

乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸着させて回収する。大量の漏出には盛土で囲って流出を防止する。

衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

換気のよい場所で取り扱う。

容器はその都度密閉する。

作業中は帯電防止型の作業服, 靴を使用する。

皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する。

取扱い後は、手、顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。

密封した場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業をすること。

使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄まで水に漬けておくこと。

周囲で、火気、スパーク、高温物等の使用を禁止する。

工具は火花防止型を使用する。

静電気対策のため、装置は接地し、電気機器類は防爆型（安全増）を使用する。

過去にアレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。

### 保管

日光の直射をさける。

通風の良いところに保管する。

盗難防止のために施錠保管する。

子供の手の届かないところに保管する。

火気、熱源から遠ざけて保管する。

## 8. 暴露防止措置及び保護措置

### 管理濃度

設定されていない

### 許容濃度

設定されていない

### 設備対策

取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。

屋内塗装作業の場合には、自動塗装機を使用するなど作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。

タンク内部などの密閉場所などで作業をする場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気が出る装置を取り付けること。

装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。

腐食性物質に、作業者が直接接触したり、暴露したりしないような配慮をすること。

取扱設備は防爆型を使用する。

液体の輸送、くみ取り、攪拌などの装置についてはアースをとるように設備する。

排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。

### 保護具

呼吸系の保護具 : 密閉された場所では送気マスクを着用する。

有機ガス用防毒マスクを着用する事。

手の保護具 : 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない手袋を着用する。

目の保護具 : 取扱には保護メガネを着用すること。

皮膚及び身体の保護 : 取り扱う場合には、皮膚を直接曝さない様な衣類を付けること。又、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状态

状態 : 液体

色 : クリア

臭気	: 溶剤臭あり
沸点	: 146°C
蒸気圧	: 400Pa (20°C)
密度 (比重)	: 0.990 (23°C)
pH	: データなし
危険性情報	
引火点	: 43°C
発火点	: 344°C
爆発限界	: 下限 1.2%、上限 7%

## 10. 安定性及び反応性

接触により危険のある物質

酸化剤

燃焼などによる有毒ガスの発生

CO、NO<sub>x</sub>等の有害ガスが発生する恐れがある。

その他反応性情報

セツトベースの塗料の他、アルコール、アミン類、水等と反応する。

## 11. 有害性情報

急性毒性 経口	: 区分外 (メトキシプロピルアセテート LD <sub>50</sub> 8532mg/kg)
経皮	: 区分外 (メトキシプロピルアセテート LD <sub>50</sub> 5000mg/kg)
吸入; 気体	: 分類できない
吸入; 蒸気	: 分類できない
吸入; 粉塵、ミスト	: 分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分外
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分2 (メトキシプロピルアセテート: 区分2 B)
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 区分外
授乳に対する又は授乳を介した影響	: 区分外
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 区分3 (メトキシプロピルアセテート: 区分3 (気道刺激性、麻酔作用))
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	: 区分外
吸引力呼吸器有害性	: 分類できない

## 12. 環境有害情報

生態毒性

水生環境有害性 (急性) : 分類できない

水生環境有害性 (長期間) : 分類できない

残留性/分解性 : データなし

生態蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : 分類できない

他の有害影響 : 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

### 13. 廃棄上の注意

- ・廃棄においては、関廃棄上の注意 連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
- ・廃塗料、廃溶剤、容器の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ・容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
- ・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
- ・特別管理産業廃棄物（廃油）に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ・廃塗料などを焼却処理する場合には、珪藻土に吸着させて、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。

### 14. 輸送上の注意

共通 : 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。  
容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

#### 国内規制

- 国連番号 : 1263  
指針番号 : 128  
陸上輸送 : 消防法、労働安全法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。  
海上輸送 : 船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。  
航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。

#### 国際規制

- 国連輸送名 : 塗料 (Paint)  
国連分類 : クラス 3  
容器等級 : III  
海洋汚染物質 : 該当

### 15. 適用法令

#### 労働安全衛生法

- 危険物 : 引火性のもの  
有機則 : 該当しない  
特化則 : 該当しない  
通知対象物質 : 該当しない

#### 化管法

: 該当しない

#### 毒劇物取締法

: 該当しない

#### 消防法

: 第4類第2石油類 非水溶性液体 危険等級III

#### 船舶安全法

: 引火性液体類

廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 特別管理産業廃棄物

### 16. その他の情報

参考資料 社団法人日本塗料工業会「GHS対応 SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物用(塗料)〕改訂第2版」  
社団法人日本化学工業協会「緊急時応急処置指針」  
原料メーカーより入手したMSDSおよび各種技術資料  
JISZ7253 2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

本安全データシート（SDS）は、現時点で入手できた資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の手扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

## 安全データシート(SDS)

### 1. 製品および会社情報

製 品 名：OT コート QQ 硬化剤 Q-12 ライトグレー  
 会 社 名：田島ルーフィング株式会社  
 住 所：東京都千代田区外神田 4-14-1  
 担 当 部 門：テクノサービス  
 電 話 番 号：03-6837-8880  
 F A X 番 号：03-6837-8890  
 作 成 日：2014 年 03 月 13 日  
 改 定 日：2016 年 06 月 01 日

### 2. 危険有害性の要約

#### 【GHS分類】

#### 物理化学的危険性

引火性液体 : 区分3

#### 健康有害性

急性毒性 経口 : 区分外

経皮 : 区分外

吸入；気体 : 分類できない

吸入；蒸気 : 分類できない

吸入；粉塵、ミスト : 区分外

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 分類できない

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分2

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 区分外

生殖細胞変異原性 : 区分外

発がん性 : 区分外

生殖毒性 : 区分外

授乳に対する又は授乳を介した影響 : 区分外

特定標的臓器毒性（単回暴露） : 区分3（気道刺激性、麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復暴露） : 区分外

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

#### 環境有害性

水生環境有害性（急性） : 区分3

水生環境有害性（長期間） : 区分3

オゾン層への有害性 : 分類できない

#### 【GHSラベル要素】

#### [絵表示]



#### [注意喚起語]

警告

#### [危険有害性情報]

・引火性液体及び蒸気

- ・強い眼刺激
- ・呼吸器への刺激のおそれ又は眠気又はめまいのおそれ（気道刺激性、麻酔作用）
- ・水生生物に有害
- ・長期継続的影響によって水生生物に有害

## 〔注意書き〕

## 〔安全対策〕

- ・使用前に取り扱い説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・容器を接地すること／アースをとること。
- ・防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
- ・取扱い後はよく手を洗い、うがいをする事。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・環境への放出を避けること。
- ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。必要に応じて防毒マスク／ホースマスク等を着用すること。

## 〔応急措置〕

- ・次の場合は直ちに医師に連絡し、診断／手当てを受けること（飲み込んだ場合、皮膚刺激または発疹が生じた場合、眼に入った場合、眼の刺激が続く場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合）。
- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・火災の場合には、消火に粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂等を使用すること。

## 〔保管〕

- ・容器を密閉して涼しいところ／換気の良い場所で保管すること。
- ・施錠して保管すること。

## 〔廃棄〕

- ・内容物／容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託し、廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

成分（危険有害性物質を対象）	含有量(%)	CAS No.	化管法	安衛法 通知対象物質
酸化チタン	10-20	13463-67-7	該当しない	該当
メトキシプロピルアセテート	50-60	108-65-6	該当しない	該当しない
メタクリル酸メチル	0.1-1 未満	80-62-6	該当しない	該当
カーボンブラック	0.1-1 未満	1333-86-4	該当しない	該当
アクリル樹脂	20-30	あり	該当しない	該当しない
アクリル酸ノルマルブチル	0.1-1 未満	141-32-2	該当しない	該当

## 4. 応急措置

### 吸入した場合

蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。

蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の診断を受けること。症状が改善されない場合は、医師に連絡すること。

呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

### 皮膚に付着した場合

付着物を布で素早く拭き取る。

大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーなどは使用しないこと。外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。気分が悪い時には医師の診断を受けること。

直ちに、すべての汚染された衣類を取り除くこと。皮膚を流水で洗うこと、直ちに医師に連絡すること。

### 眼に入った場合

直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

直ちに医師の診断を受けること。

### 飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。

嘔吐物は飲み込ませないこと。

医師の指示による以外には無理に吐かせないこと。

### 応急処置をする者の保護

適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。

換気を行う。

## 5. 火災時の措置

### 使用可能消火剤

水 [ ] ・炭酸ガス [○] ・泡 [○] ・粉末 [○] ・乾燥砂 [○] ・霧状強化液 [○]

### 消火方法

適切な保護具（耐熱性着衣）などを着用する。

安全に対処できるのであれば可燃性の物を周囲から素早く取り除く。

指定の消火剤を使用する。

高温にさらされた密閉容器は水をかけて冷却する。

消火活動は風上から行う。

棒状の水を消火に用いてはならない。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具（保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。

屋内では換気をしっかり行う。

屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。

周辺を立入禁止にして、関係者以外を近づけないようにして、二次災害を防止する。

付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。

着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

### 環境対する注意事項

河川への流出等により、環境への影響を起ささないように注意する。

## 封じ込めおよび浄化の方法・機材

漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、関連法令に基づいて処置すること。

乾燥砂、土、その他不燃性の物に吸着させて回収する。大量の漏出には盛土で囲って流出を防止する。

衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

換気のよい場所で取り扱う。

容器はその都度密閉する。

作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。

皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり目に入らぬよう適切な保護具を着用する。

取扱い後は、手、顔などを良く洗い、休憩所などに手袋などの汚染保護具を持ち込まないこと。

密封した場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業をすること。

使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は廃棄まで水に漬けておくこと。

周囲で、火気、スパーク、高温物等の使用を禁止する。

工具は火花防止型を使用する。

静電気対策のため、装置は接地し、電気機器類は防爆型（安全増）を使用する。

### 保管

日光の直射をさける。

通風の良いところに保管する。

盗難防止のために施錠保管する。

子供の手の届かないところに保管する。

火気、熱源から遠ざけて保管する。

## 8. 暴露防止措置及び保護措置

### 管理濃度

設定されていない

### 許容濃度

#### ACGIH

酸化チタン : 10mg/m<sup>3</sup>

メタクリル酸メチル : 50ppm

カーボンブラック : 3mg/m<sup>3</sup>

アクリル酸ノルマルブチル : 2ppm

### 設備対策

取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。

屋内塗装作業の場合には、自動塗装機を使用するなど作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。

タンク内部などの密閉場所などで作業をする場合には、密閉場所、特に底部まで十分に換気が出る装置を取り付けること。

装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。

腐食性物質に、作業者が直接接触したり、暴露したりしないような配慮をすること。

取扱設備は防爆型を使用する。

液体の輸送、くみ取り、攪拌などの装置についてはアースをとるよう設備する。

排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。

**保護具**

呼吸系の保護具 : 密閉された場所では送気マスクを着用する。  
有機ガス用防毒マスクを着用する事。

手の保護具 : 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない手袋を着用する。

目の保護具 : 取扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚及び身体の保護 : 取り扱う場合には、皮膚を直接曝さない様な衣類を付けること。又、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

**9. 物理的及び化学的性質****物理的状态**

状態 : 液体  
色 : ライトグレー Q-12  
臭気 : 溶剤臭あり  
沸点 : 146℃  
蒸気圧 : 400Pa (20℃)  
比重 : 1.130 (23℃)  
pH : データなし

**危険性情報**

引火点 : 41℃  
発火点 : 344℃  
爆発限界 : 下限 1.2%、上限 7%

**10. 安定性及び反応性**

接触により危険のある物質

酸化剤

燃焼などによる有毒ガスの発生

CO 等の有害ガスが発生する恐れがある。

その他反応性情報

セットの主剤（イソシアネート類）と反応する。

**11. 有害性情報**

急性毒性 経口 : 区分外  
(酸化チタン LD<sub>50</sub> 20000mg/kg、  
メトキシプロピルアセテート LD<sub>50</sub> 8532mg/kg、  
メタクリル酸メチル LD<sub>50</sub> 7900mg/kg、  
カーボンブラック LD<sub>50</sub> 8000mg/kg、  
アクリル酸ノルマルブチル LD<sub>50</sub> 3143mg/kg)

経皮 : 区分外  
(酸化チタン LD<sub>50</sub> 10000mg/kg、  
メトキシプロピルアセテート LD<sub>50</sub> 5000mg/kg、  
メタクリル酸メチル LD<sub>50</sub> 5000mg/kg、  
アクリル酸ノルマルブチル LD<sub>50</sub> 2000mg/kg)

吸入；気体 : 分類できない  
吸入；蒸気 : 分類できない  
吸入；粉塵、ミスト : 区分外  
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 分類できない

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分 2 (アクリル酸ノルマルブチル: 区分 2 A、メタクリル酸メチル: 区分 2 A-2 B、酸化チタン、メトキシプロピルアセテート: 区分 2 B)
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 区分外
授乳に対する又は授乳を介した影響	: 区分外
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用) (アクリル酸ノルマルブチル: 区分 1 (呼吸器)、メトキシプロピルアセテート、メタクリル酸メチル: 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用))
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	: 区分外
吸引力呼吸器有害性	: 分類できない

## 12. 環境有害情報

生態毒性	
水生環境有害性 (急性)	: 区分 3 (アクリル酸ノルマルブチル: 区分 2、メタクリル酸メチル: 区分 3)
水生環境有害性 (長期間)	: 区分 3
残留性/分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: 分類できない
他の有害影響	: 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

## 13. 廃棄上の注意

- ・廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
- ・廃塗料、廃溶剤、容器の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ・容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
- ・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
- ・特別管理産業廃棄物 (廃油) に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ・廃塗料などを焼却処理する場合には、珪藻土に吸着させて、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。

## 14. 輸送上の注意

共通	: 取扱及び保管上の注意の項の記載に従うこと。 容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。
----	---

### 国内規制

国連番号	: 1263
指針番号	: 128

- 陸上輸送 : 消防法、労働安全法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。
- 海上輸送 : 船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。
- 航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。
- 国際規制
- 国連輸送名 : 塗料 (Paint)
- 国連分類 : クラス 3
- 容器等級 : III
- 海洋汚染物質 : 該当

## 15. 適用法令

- 労働安全衛生法
- 危険物 : 引火性のもの
- 有機則 : 該当しない
- 特化則 : 該当しない
- 表示対象物質 : 酸化チタン
- 通知対象物質 : 酸化チタン  
メタクリル酸メチル  
カーボンブラック  
アクリル酸ノルマルブチル
- 化管法 : 該当しない
- 毒劇物取締法 : 該当しない
- 消防法 : 第4類第2石油類 非水溶性液体 危険等級III
- 船舶安全法 : 引火性液体類
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 特別管理産業廃棄物

## 16. その他の情報

- 参考資料 社団法人日本塗料工業会「GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック〔混合物用（塗料）〕改訂第2版」
- 社団法人日本化学工業協会「緊急時応急処置指針」
- 原料メーカーより入手したMSDSおよび各種技術資料
- JISZ7253 2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

本安全データシート (SDS) は、現時点で入手できた資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の手続きを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。